

豊かな暮らしづくりの輪を広げる 富山県消費生活センター

レポーター:富山医科薬科大学 金川祐子さん
(表紙の人)



▲いろいろな疑問にお答える消費生活相談コーナー



今、私たちのまわりは、たくさんモノや情報・サービスであふれていますが、おかげで生活は便利になりました。その反面、暮らしの中でふと疑問に思ったり戸惑ったりすることも多いのではないのでしょうか。そんな問題を解決し、県民の消費生活の安定を図るのが、今回ご紹介する富山県消費生活センターです。

中に入るとまず目に付くのが展示コーナー。暮らしの中の様々な情報が、パネルで解説されています。また、家電製品のテスト結果なども表示してあって、役立つ生活知識がいっぱいです。



最新の機器がそろったテスト室

▲Q&Aコンピュータ

Q & A コンピュータには衣食住に関する情報がぎっしり。私は、学校で研究している食品添加物の項目を選択し、さっそくプリントアウト。解説文はとても分かりやすく、勉強になりました。別フロアのテスト室には、衣類や金属製品の素材を拡大して分析するビデオマイクロスコープ、食品添加物の成分分析に用いる分光光度計など最新の機器がそろっていて、商品に対するいろいろなテストが行われています。さて、このセンターの主な業務の一つに消費生活相談があります。相談コーナーでは、相談員の方々が消費生活



家電製品のテスト結果を展示

に関するトラブルなどの解決をお手伝いしています。昨年度は四千件以上の相談が寄せられたとのこと。特に最近では、商品の販売方法や品質などの苦情相談が目立っているそうです。

このように、あらゆる分野から県民の暮らしを育んでいる富山県消費生活センター。みなさん気軽に訪れて、豊かでうるおいのある暮らしづくりに役立ててみませんか。

富山県消費生活センター
富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内
☎ 0764-32-9233 (消費者110番)

高岡支所
高岡市本丸町7-1 本丸会館内
☎ 0766-25-2777 (消費者110番)

役立つ情報をパネルで解説

俳句は時空を超えて

パソコン通信「俳句ネット」同人 荒木一雄さん



11 CONTENTS

11月号もくじ



「家にいながらにして、全国の方々と句会が開けるのが魅力ですね。」と語るのは、パソコン通信「俳句ネット」システムの創設者の一人、荒木一雄さん。

荒木さんが俳句を始めたのは、会社の俳句サークルに入ってから。「東京で勤務していた頃、定期的に開かれる句会のメンバーと、俳句の魅力を広く知ってもらういい方法はないか、頻りに話し合っていました。」技術開発の仕事をしてきた荒木さんは、パソコン通信を何とか俳句の普及に利用できないかと考え、仲間と協力して平成三年に「俳句ネット」を開発。「俳句とパソコン通信」というと、無縁なものに思えますが、わずか十七文字の中に膨大な情報量を持つこの文学は、ある意味で高度情報化社会にマッチしたのもといえるんですよ。」

全国にいる約六十名の「俳句ネット」会員は、締切日までにパソコンやワープロに

俳句を打ち込み、電話回線を使って投稿します。それらの作品はランダムに並べられ、会員はその中から気に入った作品を選句。それが集計されて高得点の作品と作者が示されるほか、作品に対するコメントなども送信できるシステムになっています。「従来、句会は、同じ時間、同じ場所に人々が集まって開かれるものですが、都合がつかなければ出席できません。でも、「俳句ネット」を使えば、仕事の合間や休日に詠んだ句を送信しておくことで、時間や空間を超えて句会を成立させることができるんですよ。」

今後は、俳句教室を開いたり、過去の作品をデータベース化して簡単に引き出せるようにするなど、システムの充実を図っていきたいそうです。「今の時代、パソコン通信は何も特別なものではありません。俳句が好きな皆さんには、気軽に「俳句ネット」に加入して、全国の愛好者にメッセージを発信してもらいたいですね。」

荒木さんは、県が平成五年度から余暇活動のリーダーとして募集・認定を行っている「ゆとり名人」の一人。これからも、ゆとりライフの実践者として、富山から俳句の新しいネットワークを広げていくことでしょう。

表紙
撮影/赤羽仁諭(富山県写真家協会会員)

とやま遊学感/ 富山県消費生活センター

ひとアズとやま/ はいくネット同人 荒木一雄さん

クローズアップ/ ①富山県福祉カレッジ開校

②富山県総合防災訓練

③とやまスポーツフェスティバル

特集/文化の香り高い
ふるさと富山の実現
—富山県民文化プランの推進—

PINUP TOYAMA

写真/松田 勉(富山県写真家協会会員)

詩/池田瑛子(富山現代詩人会会員)

ふるさとみてる記(福光町)

①南砺リサイクルセンター

②アルフホルンづくり 山崎直政さん

③成政トラスト吟醸の会

エッセイ/野村 昇

(放送大学富山地域学習センター長)

シリーズ 花ある人を育てる緑

彩りとやま緑化祭'96 II

県からのお知らせ

暮らしのアドバイス

とやまの祭事記/おおべつさま迎え

(宇奈月町)

10/10 国体スローガンは「あいの風 夢のせて」



▲吉田選手と志の輔さんの楽しいトーク



▲中学生五人による誓いの言葉

とやまスポーツフェスティバル開催

第一部の記念式典では中沖知事が「二十一世紀の扉を開けるにふさわしい富山らしい大会となるよう全力を尽くしたい」とあいさつした後、大会のテーマとスローガンを発表。テーマは、高岡市の高校生、工博士さんの「二〇〇〇年とやま国体」が、スローガンは砺波市の会社員、菅野由紀子さんの「あいの風 夢のせて」にそれぞれ決定し、他の入選者とともに表彰されました。

バルセロナ五輪柔道の金メダリスト、吉田秀彦選手をゲストに迎えた第二部では、ホスト役の落語家立川志の輔さんと試合での心構えなどについてトークを繰り広げました。また、後半は、インテックポルト部の山下美由紀選手ら四人が加わり、スポーツ談義に花を咲かせ、会場を訪れた約千人の人々は興味深く耳を傾けていました。

古くから海の幸を運ぶ風として親しまれている富山湾の「あいの風」が、スポーツの祭典に集う人々の夢を乗せ、素晴らしい幸を全国、そして未来へ運ぶ大会になることが期待されます。



▲中沖知事から表彰を受ける菅野さん

10/2 福祉・介護の人材の養成拠点 オープン



富山県福祉カレッジ開校



▲介護用品・機器の数々

福祉・介護に携わる人材養成の拠点として、県社会福祉協議会が開設する、「富山県福祉カレッジ」の開校式が十月二日、県立中央病院医療交流センター一階の同カレッジで行われました。

式では三浦文夫学長が「高齢化社会を迎えるにあたり、福祉・介護に携わる人材の養成に力を尽くしたい」とあいさつ。その後、三浦県厚生部長による祝辞、関係者によるテープカットに続いて、参加者たちはカレッジ内の実習室や研修室、展示室に設置された介護用品や機器を見学しました。

高志会館に場所を移して行われた開校記念式典で中沖知事は「福祉を担う人材の養成・確保を総合的に展開するカレッジの活動を全面的、積極的に支援していきたい」と祝辞を述べました。続いて、三浦学長の「二十一世紀に向けての福祉の課題」と題した記念講演があり、参加者は熱心に聞き入っていました。

同カレッジは従来の健康・福祉人材センターと介護実習・普及センターを統合発展させたもので、県民を対象とした福祉関連講座や福祉事業従事者を対象とした研修等の開催、福祉・介護に携わる人材養成校に対する支援、福祉職場への就労斡旋などを行います。高齢化社会へ向けた人材の養成・確保の中核拠点として、大きな期待が寄せられます。



▲興味深く機器を見学する参加者たち

10/3 実戦に即した訓練で備えを新たに

生き埋めになった人の救出訓練 (C i C前)



▲県災害対策本部の設置 (県庁内)



収集や指揮命令系統などが入念にチェックされました。

城址公園で行われた閉会式で中沖知事は、「今回の訓練を活かし、災害に強い街づくりを進めたい」と決意をのべ、訓練を締めくくりました。

高校生による幼稚園児の避難誘導、城址公園ではライフラインの復旧訓練、八人町では同時多発火災にポンプ車二十七台が出動しての消化訓練なども行われました。

なお、この実地訓練に先立って、午前六時三十分地震が発生したとの想定で行われた初動活動訓練では、県職員の参集や災害対策本部の設置訓練のほか、阪神・淡路大震災でも課題となった情報収集や指揮命令系統などが入念にチェックされました。

富山県総合防災訓練



▲初期消火訓練 (安野屋小学校)

都市型大地震を想定した県総合防災訓練が十月三日、富山市一円で行われました。震度六の直下型地震が発生し、家屋の倒壊やガス・水道管の断絶、火災の同時多発などにより都市機能が麻痺したとの想定で行われた今回の訓練は、ヘリコプター五機、車両三百四十四台が出動する過去最大のものとなりました。

午前九時からの実施訓練には、一般県民約六万人が参加。C i Cビル前では、実際に瓦礫に生き埋めになった人の救出訓練が行われ、緊迫感あふれる中、救助犬を用いた負傷者の発見や救助隊員による救出、収容作業が手際よく進められました。また、安野屋では

県政の動き

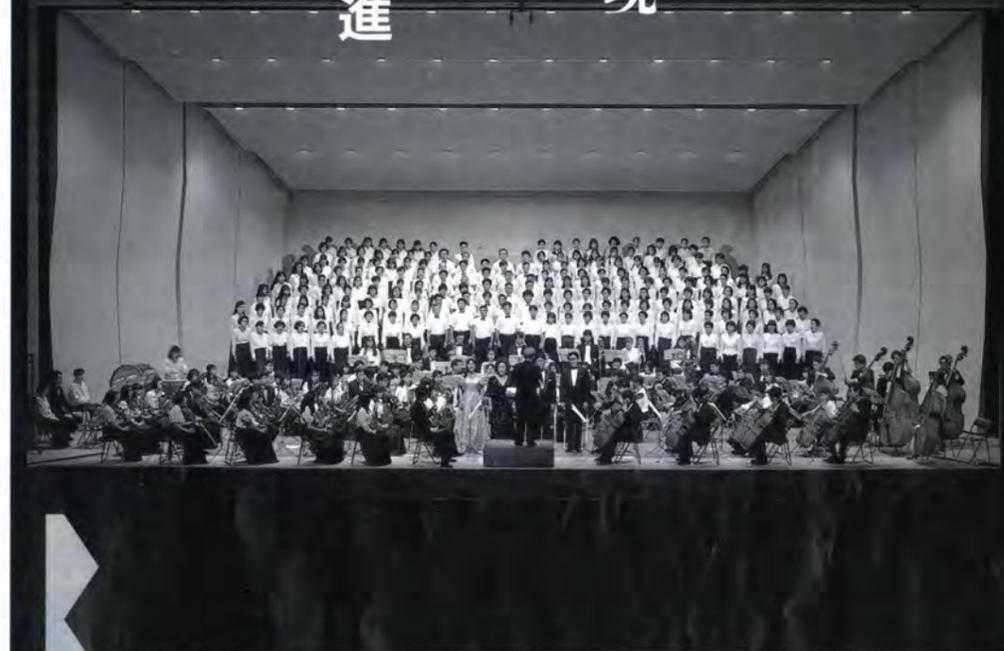
平成7年9月11日～10月10日

- 9月9日 '95公募 日本海美術展 (～10月22日)
- 9月13日 県議会本会議 (提案理由説明)
- 9月17日 第7回全国勤労者綱引大会
- 9月20日 センサスレディ市町村長表敬訪問出発式
- 9月27日 第32回富山県交通安全県民大会
- 10月1日 平成7年国勢調査
- 10月2日 富山県福祉カレッジ開校式
- 10月3日 都市型震災訓練 (平成7年度富山県総合防災訓練)
- 10月4日 海洋環境モニタリングに関するワークショップ (～6日) 高齢者雇用促進街頭キャンペーン
- 10月6日 第4回暴力追放富山県大会 第11回富山県育樹祭 暮らしの一日教室
- 10月10日 第55回国民体育大会内定記念 「とやまスポーツフェスティバル」

文化の香り高い

富山の文化の実現

富山県民文化プランの推進



今や人々の生活価値観は、ものの豊かさから心の豊かさへ移りつつあり、その実現手段として「文化」の振興に寄せられる期待が大きくなっています。

価値観の多様化や自由時間の増大、余暇ニーズの高まり、消費に占める教養娯楽費の増大、ネットワーク社会の形成など、今日、文化を取り巻く環境は大きく変化しています。また、自由時間を多様な文化活動に活用する女性や、生きがい獲得の一環として文化活動に参加する高齢者の増加も見られます。

文化活動は一人ひとりの自由な意志に基づく行為ですが、そのための基盤整備や地域文化の形成のために行政が果たす役割は少なくありません。県では、一昨年、「文化の香り高いふるさと富山の実現」に向け「富山県民文化プラン」を策定し、様々な文化振興施策を行っています。ここでは、本県の文化の現状と県が行う施策の基本的な考え方について紹介します。

文化活動の現状

本県には、日本一の伝承数を誇る獅子舞や豪華な曳山など、多彩な伝統祭事がありますが、最近では「高岡万葉まつり」や「富山おらっちゃ祭り」など、市民の交流を目的とした新しいイベントも催されています。また、県内各地に二百五十余の民謡があり、地域

で熱心な継承活動が行われています。アマチュアの音楽活動も盛んで、オーケストラや吹奏楽、ジャズやロック等、多くのグループの活動が見られます。演劇では、「利賀フェスティバル」や「国際アマチュア演劇祭」など国際的にも評価の高いものや、高岡野外音楽劇「越中万葉夢幻譚」など県民参加型のものが行われているほか、アマチュア劇団の公演活動や相互交流も盛んです。

このほか、舞踏や美術、文芸についても、優れた個人、グループの輩出はもとより、生涯学習の一環としての活動も活発です。

富山県の文化の現状

文化基盤の現状

(1)文化関連教育

生涯学習については、県民生涯学習カレッジを核として幅広い生涯学習体系が作りだされており、一般教養から、趣味、消費生活など多様な学習プログラムが組まれています。また、県民生涯学習カレッジ映像センターでは、郷土の映像資料を中心に提供しているほか、放送大学ビデオ学習センターが平成四年に開校し、勤労者の生涯学習の場として利用されています。

(2)文化施設

県内の文化ホールや美術館、博物館などの人口当たりの数は、全国トップレベルにあります。文化ホールについては、友の会など鑑賞者とのネットワーク組織を持つものが複数あり、広報活動や自主企画による公演など、その活動は活発化しています。

美術館については、世界・全国レベルの現代美術を集めた県立



県東部の芸術文化中核拠点▶新川文化ホール

特文化の香り高いふるさと富山の実現
集富山県民文化プランの推進

近代美術館、県民の美術発表や全国巡回展などが催される県民会館美術館のほか、個人や企業のコレクションを展示公開する個性豊かな美術館が各地にあります。博物館については、立山博物館や富山市科学文化センター、魚津埋没林博物館、高岡市万葉歴史館など、特色あるものが数多く見られます。

図書館、公民館についてもその整備率は高く、特に公民館は練習、発表の場として、県民に身近な文化施設となっています。

(3)文化団体・グループ

県内の多様な文化団体が集まって昭和四十七年に設立された(財)富山県芸術文化協会は、展覧会や公演、国際交流など、芸術文化全般にわたる振興、発展に寄与しています。

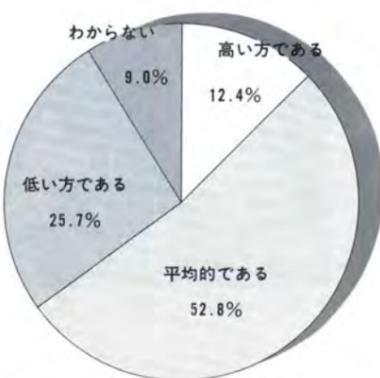
また、手作りイベントを通じて地域の活性化を図るために昭和六十三年にスタートした「富山県コロンブス計画」のネットワーク、「コロンブスイベントネットワーク委員会(コロンブスネット)」への参加グループは、現在八十を超え、スポーツや芸術など様々な分野で活動を行っています。

このほか、生涯学習事業や学生時代のクラブ活動、民間のカルチャー教室などから文化サークルを形成する動きも活発化しています。

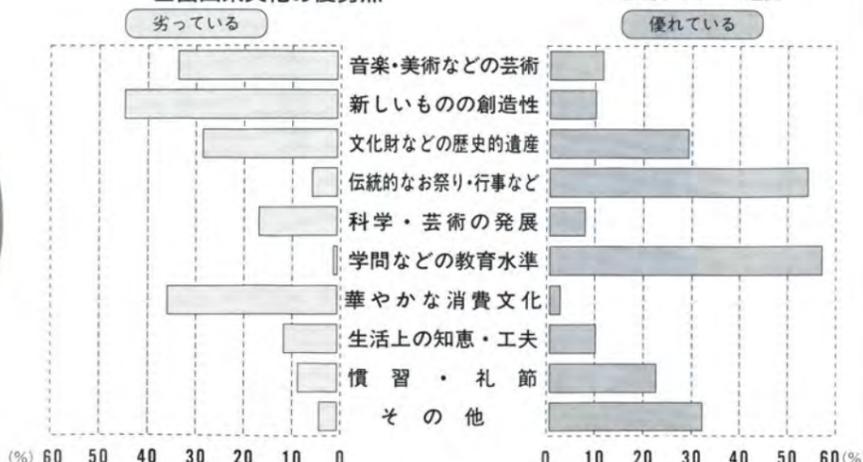
県の文化性導入事業

県では、拠点的な公共施設の設置について、提案設計、設計競技を取り入れ、優れたデザイン建築物の整備を進めています。また、地域環境をうまいとやすらぎのあるものとするため「とやまURUI会議」を設置したほか、県立施設の修景を行う「文化性導入事業」を実施。さらに、外国人建築家と地元建築家が共同で市町村のシンボルとなるような建築物建設等を行う「まちのかおづくり事業」に取り組んでいます。民間施設等の文化性導入については、「うるおい環境とやま賞」を設け、周辺環境と調和し、優れた景観を創出している建築物等の顕彰を行っています。

■富山県の文化に対する評価



■富山県文化の優劣点



富山県の文化に関する県民世論調査 (富山県民文化プラン抜粋)

新世紀の文化を担う人づくり

(1) 文化活動の裾野の拡大

身近な文化活動のきっかけを提供するための施策としては、入門講座の充実を中心とした生涯学習プログラムの見直しや、富山県芸術文化協会や民間団体との連携による多くの鑑賞機会の提供などがあります。さらに、芸術鑑賞や生活文化交流を平日夜間に身近な空間で楽しむ生活スタイルを提唱していくことが必要でしょう。

また、文化活動に不慣れな人に対しては、モデルとなる人を身近に示すことが効果的です。県では、余暇活動により自己実現を果たしている人々を社会的に評価し、地域リーダーとして位置づけたい。ゆとり名人の認定を行い、身近なリーダーとしての活躍を促進していきます。

(2) 明日を担う人材の育成

明日の文化を担う人材を育成するためには、初等・中等教育において、文化に関する基本的能力を習得できる学習体制の整備が必須です。そのため、専門的教職員の確保や資質の向上に努めるとともに、若手芸術家と青少年が創作交流できる環境づくりが望まれます。

また、高等学校の芸術文化系特別コースの充実や、芸術関連科の設置検討、さらには、本県に少ない芸術文化系的高等教育機関の誘致や既存の大学・短大の充実整備の検討も必要です。

(3) 指導的専門的人材の確保

指導的専門的人材の確保については、優れた芸術家や指導者を招へいする「特別指導者招へい事業」を充実するほか、経験豊かなプロフェッショナル

サーやコミッションナーに国際的なコンクール、企画展などの事業への協力、参加を求めるとともに、本県での活躍を促進することが重要です。

(4) 芸術文化団体の育成・支援

芸術家輩出の母体であり、県民の文化活動の基盤でもある芸術文化団体に対しては、特別指導者の招へいや資金・場所の確保、情報の提供を通じた芸術文化活動の支援を行うとともに、県の文化事業への積極的な参加を求めていくことが重要です。

豊かな文化活動の場づくり

(1) 日常の活動の場の整備

練習や創作などの活動の場の整備としては、学校や公民館など身近な公共施設の活用促進が考えられます。また、これらの実施には、地域の要望や施設の状態等を検討していくことも必要でしょう。

(2) 発表の場の整備

県内にある数多くの文化ホールが、地域文化を育て、発信していくためには、地域と連携した自主事業の充実が必要です。魅力ある事業を行うには、優れた見識と豊富な経験を持つ企画スタッフや、地域の文化活動を側面から支える専門スタッフを養成・確保することが最も重要です。なお、美術館やギャラリーについては、県民が自由に創作活動ができる公開アトリエを持つ参加型美術館の検討も進めていくべきでしょう。

また、これら専用施設だけでなく、街の中にも賑わいの舞台づくりが必要です。例えば、市街地再開発



▲「利賀フェスティバル」より

事業の導入により公開空間を確保するとともに、電線類の地中化、夜間照明設置などにより、イベントの場として活用できるようゆとりを持たせたり、商店街や事業所の協力を得て、シースルーシャッターの導入やロビーでの美術展開催などが考えられます。

(3) 芸術創造空間の整備

利賀村における劇団スコットの活動に見られるように、地域での優れた芸術の創造は、県民の誇りであるとともに文化水準の向上に結びつきます。このための施策として、各地のアトリエ村や創造工房の整備があります。

また、銅器、漆器、木彫など本県の地場産業と芸術家との交流を今後いっそう深めていくことも大切です。

(4) 文化遺産の継承と振興

指定文化財や各地に継承されている有形、無形文化財の保存継承に努めるとともに、博物館についても、人々の余暇活動や学習・研究の場、全国や世界に向けて文化情報を発信する拠点としての整備・充実が望まれます。

多様な文化活動のネットワークづくり

(1) 文化交流の促進

優れたアマチュア活動や伝統文化との交流を促進するため、来年第11回国民文化祭とやま'96を開催するほか、今年度から、県民の幅広い文化交流の機会として、県民生涯学習フェスティバルを行い、国際的な文化交流としては、国際アマチュア演劇祭や世界ボスタートリエンナーレトヤマ、国際伝統医薬シンポジウムなど定評あるものを定期的かつ継続的に開催し、富山独自の文化として定着させていくことが大切です。

(2) 文化産業の振興

産業活動を通じて形成される地域文化は富山文化のイメージ形成の大きな要素となっていることから、地域産業の水準の向上は欠かせません。果では、産業の高付加価値化とデザイン振興の拠点となる。総合デザインセンター（仮称）を整備し、富山発の生活文化産業を育成します。

(3) 地域文化ネットワークの形成

個人の技や才能などは、個人の文化資源であるとともに、地域の優れた文化資源でもあります。個人のコレクションの公開や自慢の家庭料理の発掘、趣味で磨いた特技の伝授などで県民が交流する「とやま文化100運動」を提唱することにより、個人の潜在的な文化資源のネットワーク化を図ることができます。さらに、土地固有の文化資源を掘り起こし、それらを地域活性化の資源として活用する「文化のまほろば（優れた良いところ）」という意味の古語「事業」の展開も考えられます。

行政の文化化の推進

公共施設の整備にあたっては、周辺景観との調和や地域特性に配慮するとともに、利用者の立場に立った機能面の配慮、さらには、事業の実施にあたっての環境への配慮など、公共施設の文化性を進めることで、文化的な環境づくりに努めることが大切です。つまり、文化性導入とは単に芸術作品を配置したり著名な建築家に設計を委託することではなく、地域の実情に応じた手法によりゆとりとうるおいある生活空間を創出することです。また、そこで展開されるサービスの親しみやすさ、わかりやすさなど人間性に対する配慮といった行政サービスの文化化が重要であり、それを推進する仕組みづくりが求められているといえるでしょう。

また、個人や民間の建築物等についても、地域全体として優れた環境づくりを誘導していくことも



▲岸渡川せせらぎ公園（福岡町）
▼金屋通り（高岡市）



必要です。県では、「うるおい環境とやま賞」や「花と緑の街かど賞」などを設け、優良事例に対する顕彰を行っています。

施策の実現に向けて

今日、人々は生活の一部として文化に親しみ、文化活動を楽しみ、その中で精神的、肉体的エネルギーを発散することに喜びを見いだそうとしています。そして、その活動を通じて、精神の充実や自己アイデンティティの確立が果たされ、心の豊かさが実感されていくのです。生活の基礎的な水準がある程度達成したという点で、富山はこの新しい豊かさ追求するスタートラインに立ったといえます。文化の振興にとって何よりも大切なのは、文化活動の主人公である一人ひとりの県民が、それぞれ主体性をもって積極的に文化に親しもうとする情熱を持つことです。県では、今後も県民の自由な文化活動を尊重しつつ、県民や企業、団体、関係機関と密接な連携のもと、「文化の香り高いふるさと富山」の実現に努めていきます。

思いだす、遠い夜の海鳴り
ガラス戸をふるわせた鈍い響き
ゆめのなかのははがいう
へ寄り回り波や もうじき雪ね

なぎはらうように 波はよせ
打ちすすめるように 波がかえつてゆく
危うい文明を駆け急ぐ人人に
古代のうねりを伝えて飛沫くのか

堪えきれないものを解き放つて
噴きあがる海の炎を
視ているあれは誰だろう
ちいさな海鳥のかたちして

Pin
UP
TOWN
ピンナップとやま

富山湾の“寄り回り波”(富山市水橋)

福光町

福光町の概要

世界的版画家、棟方志功が創作活動を行った町。愛染苑や光徳寺には彼の作品が多数展示されている。また、木製バットや石の盃、米菓も有名。
医王山山麓のイオックス・アローザは、スイス風のスキーリゾート。また、立野ヶ原では、春にはいちご狩り、秋にはいも掘りができる。



アルプスの穏やかな音色が響く

アルプホルンづくり 山崎直政さん



▲山崎直政さん



▶山崎さんの手によるアルプホルン

スイスのリゾート「アローザ」と友好提携を結んでいるイオックス・アローザ。スイスといえは長いアルプホルンが思い浮かぶが、自らその制作を手がけているのが、イオックス・アローザのコテージ、イオックス・ヴァルト支配人の山崎直政さんである。

「木を使って何かをつくりたいと考えていましたが、一年イベントで富山を訪れていた神奈川県のアルプホルンクラブの演奏を聴いて、ぜひ製作してみようと思ったんです。雪の重みで根元が曲がった立山杉を半分は割って内と外を削り、よく乾燥させた後、双方を接着すれば出来上がり。全長は三、四メートルもある。昨年暮れ製作に取りかかり、七月末までに四本が完成した。「数ミリの厚さに木を削るんですが、これがなかなか難しいんです。また、乾燥段階で木が微妙に伸び縮みするので、接着する時にうまく合わないこともあるんですよ」と苦心談を語る山崎さん。しかし、原木の形をそのまま活かしてつくるため、削り具合によって微妙に響きが違うのも魅力だそうだ。

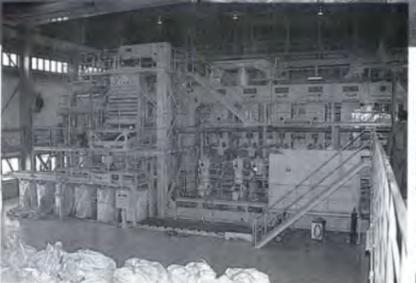
「ここを訪れた人が気軽に製作体験できるようになれば面白いでしょうね」と山崎さんは目を細める。今月、イオックスアローザで行われる「雪恋まつり」では、アルプホルンの美しい音色が響きわたることだろう。



▶南砺リサイクルセンターの全貌

リサイクル社会の輪を広げる

南砺リサイクルセンター



▲こみ固形燃料化プラント内

近年、ごみの増加や多様化など、生活廃棄物を取り巻く問題が深刻化している。そんな中、ごみの再生利用を目指した全国で初めての公的施設、「南砺リサイクルセンター」が、今年四月から稼働を開始した。

「地域の環境に与える影響を考え、ごみができるだけ再資源化できる施設を目指しました」と同センター所長の西村潔さん。この施設の最大の特徴は、「こみ固形燃料化システム」を導入したことにある。可燃ごみは、粉砕、乾燥、成形など約三分の工程を経て、石炭並みの熱エネルギーを持つクレヨン状の固形燃料に変えられる。「固形燃料は、本センターのほか特別養護老人ホームやすぎ荘で、冷暖房や給湯に利用していますが、今後は城端町や井口村の公共施設等でも熱資源として使用していく予定です」。なお、同センターは、こみ固形燃料化プラントのほか、可燃性粗大ゴミや不燃物の再生・資源化を図る「リサイクルプラザプラント」、不用品の補修や修理を行う再生作業場などを備える「管理・リフォームセンター」からなる。

「稼働以来、二百五十以上の団体が視察に訪れています」。そんな西村さん自身、講演会等で全国を飛び回っているそうだ。このセンターの設置を機に、リサイクルの輪が全国に広がることが期待される。



▲西村潔さん

酒を通じて地域交流

成政トラスト吟醸の会



▶加藤昭一さん

日本酒好きが会員となり、資金を出し合って蔵元に自分たちだけの酒を仕込んでもらう。そんなシステムを全国で初めて考案し、町唯一の酒蔵を支援している「成政トラスト吟醸の会」である。

「原料や製造方法にこだわった旨い酒を飲みたい人と、良い酒を思いきりつくりたい人の協力の上に会が成り立っているんです」と語るのは会長の加藤昭一さん。昭和六十一年に約百人の会員で始まった同会だが、今では全国に五百人弱の会員を抱えるまでになった。同様な活動をするグループも次第に増え、全国に約八十グループあるという。

この活動発祥の地で今年六月末、全国のグループ間の交流を深めようと「第一回全国酒蔵トラストサミット」が、全国十八県から二百人余りの参加のもと開催された。「グループの活動報告や酒蔵支援の方策、活動の活性化などについて熱い議論が交わされました」。また、交流パーティーでは全国から持ち寄られた吟醸酒を飲み交わしながらグループ同士の懇親を深めたそうだ。「全国のグループと更に交流して酒文化を発展させていきたいですね」と語る加藤さん。「酒蔵トラスト」は着実に広がり、今後、地域交流にも一役買っていくことだろう。



▶第一回全国酒蔵トラストサミット



▲完成した「自分たちの酒」を味わう開吟祭

第13回全国都市緑化とやまフェア 彩りとやま緑化祭'96

全体会期 平成8年4月20日(土)～9月1日(日) 135日間
 提唱 建設省
 主催 富山県・高岡市・砺波市・財都市緑化基金

テーマ会場
県民公園太閤山ランド会場 (小杉町黒河)

■会期/平成8年6月15日(土)～7月11日(日)
 全国有数のあじさい園や、ふるさとパレス、いきいき広場などのJET記念施設を活かし、「みどりとアート」をテーマに開催します。

●●●主な見どころ●●●

- 2万株以上のアジサイが咲きほころ「あじさい園」やヘモカリスのお花畑
- 美しい自然に調和した「野外造形展」
- 世界のかたつむりを紹介する「MYマイ・ランド」

■入場料/無料



おトクなメイン会場前売入場券 好評発売中!

抽選でソウル航空券プレゼントなど、多くの特典が付いたメイン会場前売入場券(高岡古城公園会場・高岡おとぎの森公園会場)が好評発売中です。入場券は、主な旅行代理店、プレイガイド、JR駅、コンビニエンスストアでご購入いただくか、町内会などからの「回覧申込書」により申込み下さい。

区分	ゴールドパスポート (全期間通用入場券)	グリーンチケット (前売普通入場券)	当日入場券
大人	前売 2,500円	前売 1,200円	1,500円
高校生	// 1,200円	// 600円	800円
小・中学生	// 600円	// 300円	400円

※ゴールドパスポートは、メイン会場の会期中(平成8年7月12日(土)～9月1日(日))、両会場に何度も入場できる大変おトクな入場券です。

【先取り情報②】

県内6つの主催会場の花の見頃を会期として、これらを順次リレーして開催する「彩りとやま緑化祭'96」。前回に引き続きテーマ会場を紹介します。



テーマ会場
県民公園頼成の森会場 (砺波市頼成)

■会期/平成8年6月21日(金)～6月30日(日)
 森に囲まれ豊かな自然と調和した公園で、全国有数のハナショウブの名所としての特長を活かしながら、「みどりと自然」をテーマに開催します。

●●●主な見どころ●●●

- 70万株のハナショウブが咲く全国有数の水生植物園
- ハナショウブのすべてがわかる「アイリスワールド」(花しょうぶの館)
- 趣味の園芸講座や木工ランド、自然観察会など、各種講習会の開催

■入場料/無料

メイン会場催事参加者大募集! 『彩りとやま緑化祭'96』で日頃の成果を発表しよう!

音楽、舞踊、演劇、伝統芸能からスポーツまで、幅広いジャンルの参加者を募集しています。個人、団体は問いません。どしどしご応募ください。

- 参加場所 メイン会場/高岡古城公園会場
または高岡おとぎの森公園会場
- 参加期間 メイン会場会期(平成8年7月12日(金)～9月1日(日))の平日
- 応募締切 平成7年11月30日(日) 当日消印有効
- 応募方法 各市町村役場、公民館などに備付けの参加申込書により、全国都市緑化とやまフェア事務局まで郵送してください。

問合せ先

全国都市緑化とやまフェア事務局
 〒933 高岡市本丸町7-1 (本丸会館内)
 ☎ 0766-25-1510



Essay
 Essay
 Essay

「県内での 環境化学で思い」

放送大学富山地域学習センター長

野村 昇

黒部川上流の高熱隧道から熱水と酸性ガスが噴出して、黒四ダムと発電所の建設に必要な電力を下流から導く電線の被覆を腐食するので、酸性物質の正体の分析依頼を受けた。もう雪が降り始めた現場にガラス器具や試薬を運び込んで

の測定であった。同じ頃、富山市岩瀬地区に合成繊維工場の誘致に先立って、市から大気質測定に依頼を受け、火の見櫓上での空気採取をした。古典的化学分析で初心の私には納得し易く、有機合成研究に明け暮れた当時の私には清新で有用な道草で、興味もあった。

数年後に、カドミウム汚染とイタイイタイ病に

大気、水、生物、土壌の順に流動的から固定的となるが、これは変動する時間のスケールの問題で、永い時間では土壌もまた変化する。汚染質の測定には、参考に人間活動による汚染を受けない昔の生物、土壌の質的な情報が必要である。埋蔵遺跡発掘の際に生物、土壌等の現代科学の粋を集めた分析データは聞かない。以前にシュレーター等が発表した人間と動物の諸器官や種々の食品等広範な試料の発光分析法での詳細な分析が、重金属汚染の解析に大変参考となったことに照らし、郷土の過去の生物(食物その他)や土壌の分析値が蓄積されることを望みたい。今からでも単に汚染質だけでなく通常基本項目について、

関わって萩野医師と患者さんにお会いした。私は直接的な骨影響調査方法として骨の組織培養を思い立ち、医学、生物学の方々の教えを仰いだ。これについては薬学部宮原龍郎博士等が成果を挙げられた。また、重金属を濃縮する腎臓メタロチオネインの測定を臨床検査に役立てるアフィニティクロマトグラフィーの適用を考えながら着手できなかった。当時の私には難問に過ぎる課題でもあった。汚染土壌の採取には、数理統計学者と地質・土壌学者に教わって実施し、機器分析の実施と結果の検定も厳密に行った。野外調査にも基礎的課題は山積すると痛感した。

主要産物や代表地質の長期にわたっての分析値の蓄積が望ましい。これはやがて郷土のかけがえない遺産となるであろう。

大気と水と米と魚の新鮮さは富山県の誇りであり、今後も継承すべき資産である。この遺産を維持し、その実証は食品科学的にも解析されてよい。

遠く地球から宇宙ステーションへ逃避しての生きがいは異常であり、足元の長所を根本から見付け直したい。

県民の方々が県の長所、ご自身の長所、生き甲斐を見付け直して「生と死」を超えての人間性の発揮を目指す場として、放送大学をご利用頂きたいと願っている。



▲放送大学富山地域学習センター

県からのお知らせ Information

お知らせ

県立近代美術館企画展 加山又造展

加山又造は、新しい日本画創造に挑み続ける、現代日本画壇を代表する作家です。
この展覧会では、初期から近年にいたる日本画の代表作に、素描、版画を加えた80余点を展示し、加山芸術の軌跡をたどるとともに、さらなる展開を示します。

会期 11月2日(休)～12月17日(日)
休館日 月曜日
観覧料 一般 850(650)円
高校・大学生 600(450)円
小・中学生 350(300)円
()内は20名以上の団体料金
問合せ 県立近代美術館 ☎0764-21-7111

ついでにやま・第8回健康と長寿の祭典

人生80年時代における生きがいづくりや日常の健康づくりへの関心を高めることを目的に開催します。

開催テーマ 「こころも心もきらめいて」
日時 11月8日(休)～9日(休) 10時～16時
場所 富山県民会館大ホール、ロビーほか
内容 (8日) 表彰 滝沢卓氏のシンセサイザー演奏
なだいなだ氏の講演
(9日) 老人クラブ大会等
(両日) 保健・医療・福祉展示や高齢者作品展示、研修等
☎0764-34-2814

啓発

Sマークのついたお店では、3つのSをお約束します。

Sマークは、厚生大臣許可の標準営業約款制度に従って営業しているお店の表示です。このSマークを店頭に掲げている理容店、美容店、クリーニング店なら、約款に定められた標準以上のサービスが保証されています。

Standard (標準)
確かな技術。お客さまに提供するサービスの種別・内容を明確に表示し、その実施をお約束します。

Safety (安全)
まかせて安心。万一事故が発生した場合、お客さまには速やかに円滑な損害賠償を行います。

Sanitation (衛生)
美しく清潔に。厳しい管理基準に従い、お客さまに気持ちのよいサービスをお約束します。



みなさんの相談窓口

- 県政について
県民相談室 富山市新総曲輪1-7 (県庁内) ☎(0764)31-4111(代) 31-3131 (県民相談電話)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211 (総合庁舎内) ☎(0766)21-9411(代)
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7 (総合庁舎内) ☎(0765)24-5311(代)
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7 (総合庁舎内) ☎(0763)33-5151(代)

- 物価ダイヤル
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。☎(0120)16-7400 (県庁県民生活課内)
- 消費生活については
消費生活センター
富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内
(一般相談は) ☎(0764)32-9233
(金融相談は) ☎(0764)32-3252
- 消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777
- 交通事故については
富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111 内4400
- 相談110番
家庭問題・悪質商法・寛せい剤など、どんな相談にも応じます。
☎(0764)42-0110

- シルバー110番
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内
☎(0764)41-4110
- よい子の育児電話相談
子育てに関して心配や悩みはありませんか。どんなことでもお気軽にお電話ください。
☎(0764)33-4150 (県庁生涯学習室内)

県からのホットニュース

- テレビ広報
■ チューリップテレビ 毎週土曜日 AM9:25～9:40 「ふるさとトーク」
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00～9:30 「112万人のひろば-クイズ/フォーカス・イン」
- 北日本放送 毎週日曜日 AM11:00～11:30 「こんにちは富山県です」
11/5 伝統工芸の魅力
11/12 広がる情報交流
11/19 青少年のすこやか育成
11/26 私たちのふるさとづくり ～新湊市～
- ラジオ広報
■ FMとやま「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
毎週月～金曜日 AM9:50～9:55
- 新聞広報
■ 北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

平成12月街頭献血日程

日曜日	献血場所	時間
1	金 八尾町役場前	12:30～16:00
2	土 富山市「アピタ」ショッピングセンター前	10:00～16:30
3	日 富山市「アピタ」ショッピングセンター前	10:00～16:30
10	日 高岡市「サティ」ショッピングセンター前	10:00～16:00
17	日 富山西武デパート前	10:00～16:00
	大島町「アプロ」ショッピングセンター前	10:00～16:00
24	日 富山市「ハイ마트」呉羽東店ショッピングセンター前	10:00～16:00
29	金 富山市「アピタ」ショッピングセンター前	10:00～16:00
30	土 富山西武デパート前	10:00～16:00

*都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認ください。
◎富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日及び第2・第4日曜日も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。(受付時間9:00～16:45)
富山県赤十字血液センター
富山市坂野26-1 TEL(0764)51-5555

対象 一般県民(参加無料)
問合せ 財団法人いきいき長寿財団
☎0764-3216010

平成7年度消費者フォーラム開催

内容 講演「今、問われている私たちの暮らし -消費の原点をさぐる-」
講師(株)アイディア・バンク代表取締役社長 佐橋慶氏
日時 11月8日(休) 午後1時30分から
場所 富山市桜町1-1-61
マリエとやま7階オルビス
募集人員 一般県民 約200名
受講料 無料
問合せ・申込み
富山県消費生活センター 〒930 富山市安住町7-18
(富山安住町第一生命ビル内)
☎0764-3212949 函0764-3112631

第25回富山県教職員美術展

富山県内の教職員が、絵画・書・彫刻・工芸・写真の5部門をアンデパンダン方式で出品する展覧会です。作品の題材は学校生活に密着したものから、海外の自然をテーマとしたものまで幅広く、見応えのあるものとなっています。

日時 平成7年11月22日(休)～26日(日) 10時から
場所 県民会館美術館及び地下展示室
問合せ 県庁福利保健課 ☎0764-3217176

県埋蔵文化財センター特別企画展 「米作りの始まり」

弥生時代の米作りや社会の様子について、各地の遺跡から発見された考古資料を通して、日本人と米との関わりを探ります。

会期 平成7年10月25日(休)～11月23日(休)
(会期中休館日なし)
入館料 無料
問合せ 県埋蔵文化財センター
☎0764-3412814

11月9日は「119番の日」です。

11月9日は、国民の消防全般に対する正しい理解と認識を深め、住民の防災意識の高揚等を図ることを目的として、昭和62年「119番の日」に設定されました。

「119番の日」には、県内の各市町村消防機関で広報活動や消防訓練等が実施されます。
詳しくは、富山県消防防災課(☎0764-4413188)までお問い合わせください。

軽自動車の保管場所届出が義務化します

平成8年1月1日から、富山市が軽自動車の保管場所の届出が必要となる地域となります。届出が義務づけられる軽自動車の保有者及び届出要領についてはつぎのとおりです。

届出が必要となる場合
①富山市内に使用の本拠の位置(原則として、保有者の所在地)があり、軽自動車を新車または中古車で購入した場合
②軽自動車の使用の本拠の位置を富山市内に変更し、かつ保管場所の位置を変更した場合
届出先
軽自動車の保管場所を管轄する警察署

第8回とやま県繊維フェア開催

「とやまニューせい・ニューライフ」をテーマに、県内の繊維製品等を紹介いたします。企業展示のほか、最新水着ショーやチャリティー抽選会などイベントも盛り沢山。みなさんぜひご来場下さい。(入場無料)

日時 11月11日(土)～12日(日) 10時～17時
場所 富山県産業創造センター(高岡テクノドーム)

(特別) 児童扶養手当制度について

◇ 児童扶養手当 支給要件
次にあてはまる児童(18歳になってから最初の3月31日までの方または20歳未満で中度以上の障害のある方)を監護している母、あるいは養育者に支給されます。
① 父母が離婚した後、父と生計を同じくしていない児童
② 父が死亡した児童
③ 父が障害の状態にある児童
④ 父の生死が明らかでない児童 等
※ただし、次のいずれかにあてはまる場合には支給されません。
① 国内に住んでいないとき
② 母または養育者が公的年金給付を受けることができるとき
③ 母が婚姻しているとき(婚姻の届はしていないが、事実上の婚姻関係にあるものも含む) 等
なお、支給要件にあてはまった日から5年以内に認定の請求をしないと手当は受けられなくなります。

◇ 特別児童扶養手当 支給要件
精神または身体に中度以上の障害の状態にある児童(20歳未満)を監護している父または母、あるいは養育者に支給されます。
※ただし、児童が障害を事由とする公的年金を受けることができるときは支給されません。
いずれの手当もお住まいの市町村役場福祉課窓口にて認定請求の手続きが必要です。なお、請求者及び扶養義務者の所得による手当の支給制限があります。
詳しくは、市町村役場福祉課窓口でお問い合わせください。

届出事項

- ① 使用の本拠の位置
 - ② 保管場所の位置
 - ③ その他政令で定める次の事項
(車名、型式、車体番号、車体の長さ、幅及び高さ)
- 県警察本部交通規制課、または最寄りの警察署
その他
平成13年からは、高岡市が軽自動車の届出地域に新たに加わります。

個人事業税の納期のお知らせ

● 11月は個人事業税(第二期分) 納付の月です。
県税事務所からお送りした納付書により、11月30日までにお近くの金融機関または県税事務所の窓口で納めて下さい。

● 納税には口座振替が便利です。
個人事業税・自動車税には、公共料金などと同じように、口座振替による納税の制度があります。口座をお持ちの金融機関で簡単に手続きができますので、ぜひご利用下さい。詳しくは最寄りの県税事務所へお問い合わせ下さい。

十一月

おおべっさま迎え

宇奈月町



十一月二十日、宇奈月町^村下立地区では、田を守る神であるえびす神が、遠くの出稼ぎ先から帰ってくるという「おおべっさま(えびす)迎え」の神事が行われる。

祭礼当日の夕刻、各家庭の玄関先では、実際の場にはいないえびす神に「長い間ご苦労さんでした。さあどうぞおいでください」と言葉かけながら、家に迎え入れる光景が見られる。迎えられたえびす神は、まず神棚で一服した後、風呂へ案内され、「あついでしようかね、ぬるいでしようかね」と湯加減を気遣われながら、長旅の疲れを癒す。その頃、広間では、二股大根(えびす大根)や生鯛二匹、おひら(人参・ごぼう・里芋・大根・油揚げ等の煮しめ)、なます(大根と鱈)といった山海の幸をふんだんに使った豪華な祝膳が用意される。えびす神が風呂から上がり、広間の上座に案内されると家族一同が顔を揃え、一年間の苦労を労う。しばらくして食事を終えたと見計られる頃、二膳をさげ家族で分けて食べ、神迎えの神事は終わる。

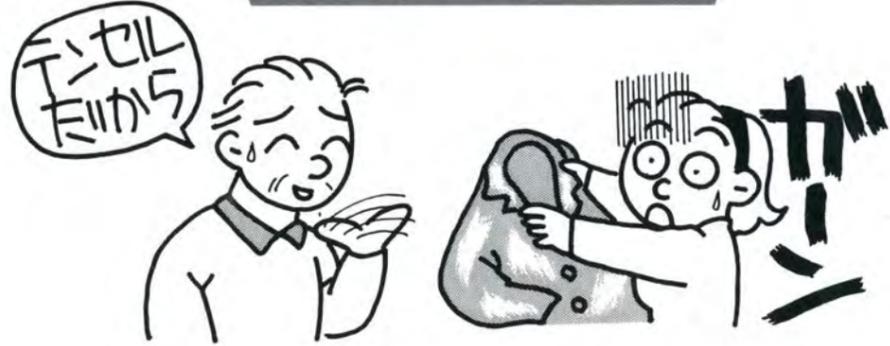
ところで、この神事の起源については記録が残っておらず明確な説はない。だが、この地域で見られるように、各家々で目に見えないえびす神を祭るという形態は、全国的に見ても極めて希なものである。

翌年一月二十日に再び稼ぎに出るまで、えびす神は神棚で過ごすといわれ、この間、家族は安らかで満ち足りた気持ちになるという。



神と人との間に真心が通う

暮らしのQ&A



「テンセル」ってどんな商品？

Q スーツをクリーニングに出したところ、変色して戻ってきました。クリーニング店は「テンセル」だから色が落ちたと言います。テンセルとはどんな繊維なのでしょう？

A テンセルはイギリスで開発されたもので、日本では原綿を輸入して製品化しています。テンセルはレーヨンと同じく天然パルプを原料としていますが、原料のパルプを直接溶剤に溶かし紡糸するので、製造工程が簡単なうえ、使用溶剤が再利用できるので廃棄物がなく、環境にやさしいエコロジー繊維といわれています。

テンセルとは商標名で、繊維名が正式に決まっていなかったため、品質表示法の表示は「繊維素繊維(指定外)」となり、この表示に(テンセル)を付記することも認められています。

強度が綿より強く、レーヨンのように濡れたときの強度低下や収縮も少なく、しわになりにくいという特性があるため、家庭でも水洗いができます。

なお、この事例のように、テンセルだから色落ちするというものはありません。しかし、デリケートな素材のため、濡れて擦れると毛羽立って白くなることがあるので注意が必要です。また、昨今はやりの着古しを楽しくむ目的で染められている商品では、洗濯を繰り返すたびに染料が徐々に脱落してくるものがあるようです。

手洗いの場合は中性洗剤を用い、裏返してぬるま湯で押し洗った後、柔軟剤を入れてすすぎます。アイロンは中温で当布を使って下さい。

相談は、県消費生活センター、電話0764(32)9293、高岡支所、電話0766(25)2777

編集後記

一人に一台パソコンを持つ時代の到来も近いと言っ俳句ネットの荒木さん。自分も一台と思う用途が浮かばない。パソコン通信は性に合わないし、仕事用というのは虚しい。ゲーム用というのも、それこそ芸が無い。せいぜい思いつくのは、たまったLPやCDのデータベース化だが、果してパソコンを使ってまでやることかどうか？今購入しても、自分にとって無用の長物と化するのには間違いないさそうだ。(K)

朝晩めっきり寒くなり、そろそろ暖かいものが恋しい季節となった。取材先でいつも感じるのは、その方の目の輝き、そして温かなハート、そしてお話になじむ独特の「味」。「暖かいもの」もいいが、これらの方々を少しでも見習って「暖かいハート」でこれからの寒い季節を過ごしていきたいものだ。(A)

久しぶりに神戸を訪れた。大震災に見舞われ八か月あまり。復旧は急ピッチで進んでいたが、三宮ところが未だにビニールシートで覆われているのを見て、震災のすさまじさをひしひしと感じた。

ところで、地震活動には一定の周期性があるともいわれる。富山では幸い長い間震災に見舞われていないが、今ではかえってそれが不気味だ…。(Y)

今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真を抽選で5名の方にワイド六ツ切(25×18センチ)でプレゼントします。希望される方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込みください。12月25日消印有効です。

富山県広報課 写真プレゼント 11月号係あて	930 80
氏名	
住所	
電話	
本誌を読んだ感想	

遊具・おもちゃ デザインコンテスト

■ 作品募集 ■

子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりの一環として、遊具・おもちゃデザインコンテストの作品を募集します。みなさん、ふるってご応募ください。

夢のおもちゃになりたい。

【応募・審査規定】

締切：平成8年1月31日(水)

応募作品：木を使った遊具・おもちゃのデザイン画（着色）
子どもたちの夢や創造力をかきたて、児童館や児童遊園などで子どもたちが実際に長期間にわたって安全に遊ぶことのできるものです。なお、モーター等の使用も認めます。

デザイン画の大きさは、B4サイズ(25.7cm×36.4cm)

賞金：大賞1点50万円、優秀賞2点10万円、佳作5点5万円

審査員：(50音順)

- 小関利紀也……………国立高岡短期大学教授
- 小林るつ子……………おもちゃコンサルタント
- 仙田 満……………東京工業大学教授
- テリー・スザン……………こどもの城国際交流部長
- 福田繁雄……………グラフィックデザイナー
- 和久洋三……………童具（おもちゃ）デザイナー

審査方法：第1次審査及び、第2次審査により決定します。

第1次審査

応募されたデザイン画に基づいて入選作品（8点）を選出します。

第2次審査

1次審査入選者には製作に必要な原材料費及び搬入費等として50万円を限度に支給します。

平成8年夏に開催する「子どもフェスタ（仮称）」会場において、子どもたちに製作された遊具やおもちゃで実際に遊んでもらい、子どもたちの人気や意見を勘案しながら大賞等の賞を決定します。

問い合わせ及び応募先

富山県子どもみらい館

〒939-03 富山県射水郡小杉町黒河 県民公園太閤山ランド内

☎0766-56-9000 ☎0766-56-7722